



東地申第2号 「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」に関する申し入れ団体交渉を実施⑬

28. 東海道線の安全・安定輸送確保のために、田町運転区と東京車掌区については、2025年3月に東京統括センターへの再編を行わず、東京運輸区(仮称)として再編をすること。

回答:2024年4月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」で示した「統括センターの新設および管轄区分の見直し」を実現するため、「東京統括センター(仮称)」の一担務として再編する。

(組)丸の内運輸区、埼京運輸区発足時は、統括センター発足は足元を固めてからと会社の回答にあった。今回運輸区にせず統括センター化はこれまでの議論と矛盾しているのではないか。何故東京運輸区を廃案にしたのか。

(会)運輸区発足後、統括センター発足と主張は理解する。首都圏本部の中で検討した。準備できる期間を確保出来るので、同時に統括センター発足とした。

(組)経費がかかる考えはあったのか？

(会)関係ない。

(組)であれば1年後でもよいのではないか。運輸区後、統括センター化が丁寧ではないか。準備期間が十分に取れている根拠は？

(会)基地再編に向けてワーキング(以下WG)の議論も進んでいる。十分時間があると考えた。実際今の段階でも乗務員基地再編WGでも、ある程度の職場のイメージ、乗務員基地の考えは概ね出来上がっている。

(組)営業統括センターから統括センターとなり完成系が示されているが一貫性があったのか。

(会)ちぐはぐであった事は受け止める。目的があり統括センター化はこの先を考えた時に必要。

(組)運転士と車掌が同職場になることはこれまでの経験からも非常に大変な作業である。さらに統括センターになるが、安全が保たれるか心配だ。東京運輸区発足後、統括センターにするべきだ。再度議論を要請した場合は時間をとる事を強く主張する。

(会)しっかり受け止める。変化点になると承知をしている。列車運行含めて業務が滞りなく進められるように全力をあげる。また、発足後直ぐにオペレーションが変わる事はない。安全面に支障が出ないように進める。提起があれば議論する。

【確認事項】

東京統括センターではなく、東京運輸区(仮称)として再編すること。【対立】

東京車掌区と田町運転区の再編は他の箇所よりも大きな変化、より一層の注意が必要。【認識一致】

我々の職場環境が変わる大きな施策です。

今後も施策の検証を行い、「安全・健康・ゆとり」働きがいのある

職場環境を全組合で創り出そう！！